２０１０年　４月　１５日
玉川ダム管理所

お知らせ

# 国土交通省の光ケーブル民間開放・無線用鉄塔貸出しによる玉川ダム（国道341号線沿い）周辺の携帯電話エリア化について

国土交通省玉川ダム管理所（以下、玉川ダム管理所）では、所管の防災用光ケーブルの一部と無線用鉄塔を株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）へ有償で貸出し、2010年4月1日（木）より、玉川ダム（国道341号線沿い）周辺で、ドコモのFOMAが使えるようになりました。

これは、玉川ダムの管理や玉川地区の国道341号沿いの危機管理、防災を目的とした携帯電話のエリア化に向け、2008年6月より各関係6機関と取り組んできたものです。

昨年度、玉川ダム管理所所管の防災用光ケーブルの一部有償貸付けを各携帯電話会社へ照会し、2009年7月ドコモへの施設貸出しを決定、FOMAのサービスエリア化に向けて諸準備を鋭意進めてまいりました。

なお、おおよその携帯電話使用可能範囲は、別紙のとおりです。

1．各関係機関名

秋田森林管理署、秋田県仙北地域振興局建設部、玉川発電事務所、仙北市建設部、湯瀬ホテル玉川温泉営業所、羽後交通田沢湖営業所

2．携帯電話会社への貸出し内容

・光ケーブル（約12km）（仙北市田沢地内～玉川下水無地内）
・管理所敷地及び鉄塔

3．携帯電話会社

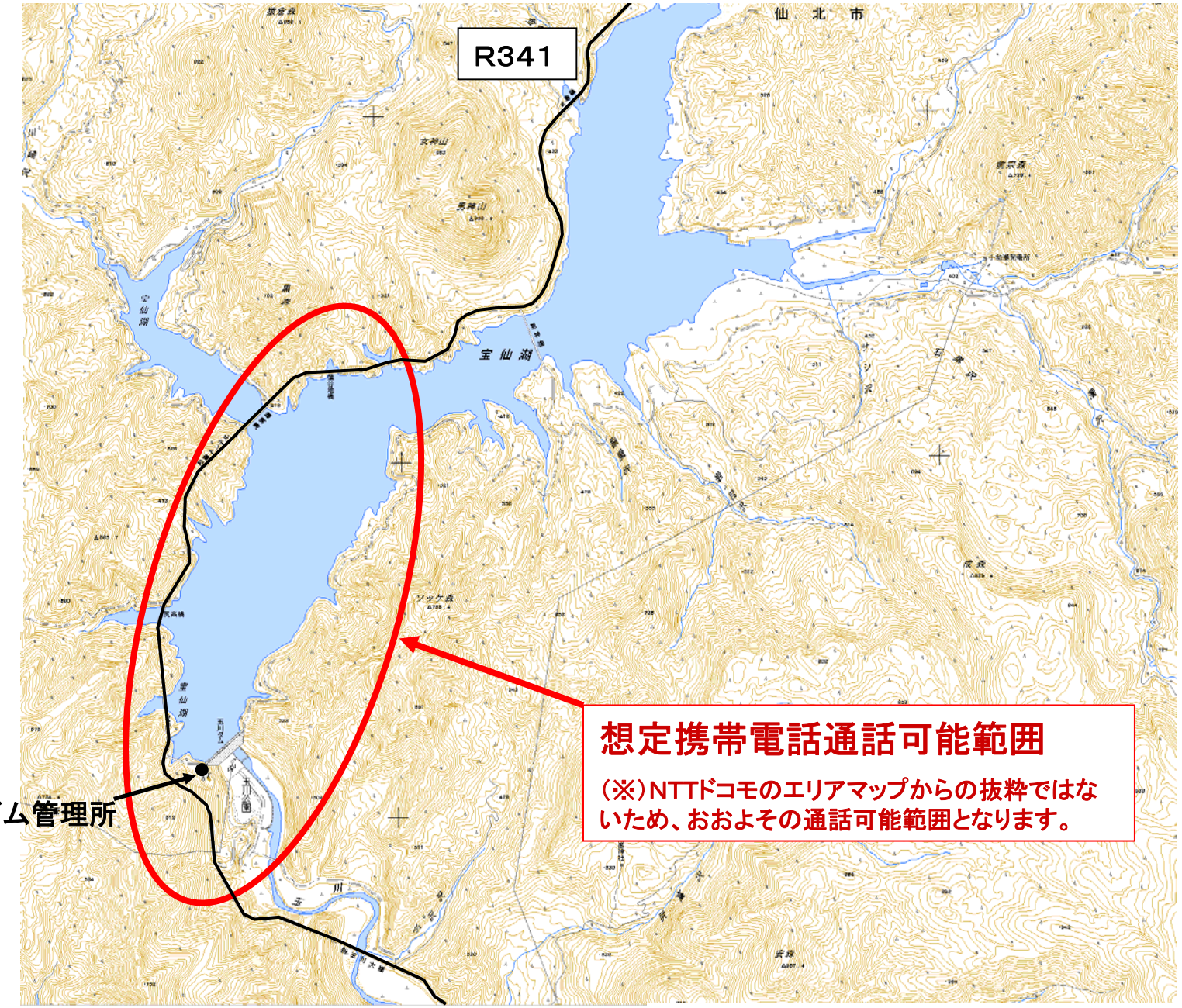
・株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
・通話対応機　　FOMA端末


本件に関するお問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局玉川ダム管理所
秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92
TEL：0187－49－2170
所　　長　千葉　和民
電気通信係長　佐藤　正彦

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ　東北支社
宮城県仙台市青葉区上杉1－1－2 ドコモ東北ビル
TEL：022－752－5110
広報室　日下　修一、日下　文男

# 携帯電話不感地帯解消後のエリア図



# ○　玉川ダムの携帯電話の不感地帯解消にむけて

国道341号沿線：近年、雪崩や土砂災害が多発しており、事故防止及び災害の被災回避に努めている状況

携帯電話：ダム管理所の洪水体制時に職員招集やメール機能を用いた災害状況把握システムに必要。

↓

国道341号はダム管理所の生命線であり、この路線が、玉川ダム管理所の前後で寸断されると洪水体制時の職員の招集困難や管理所の孤立といった事態が想定

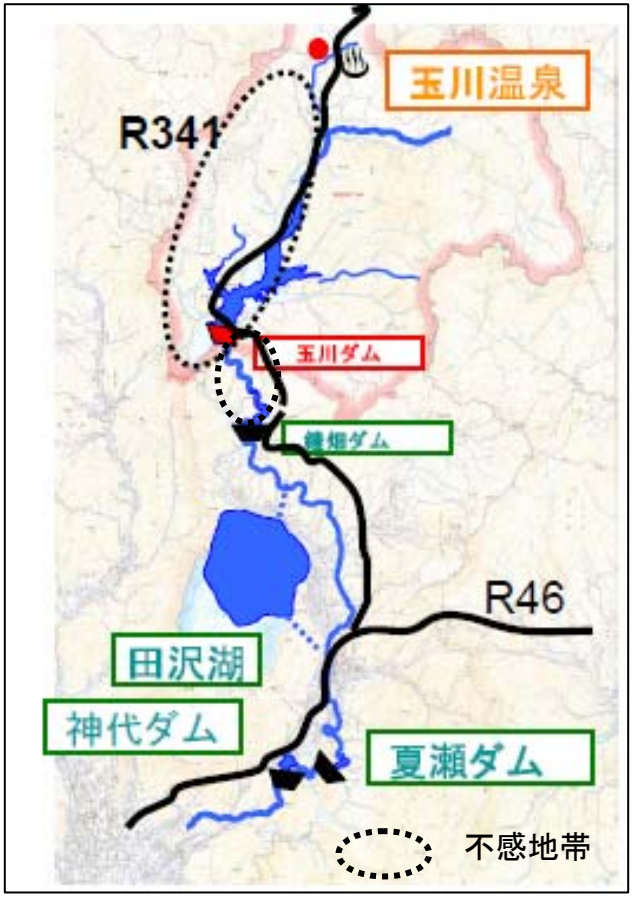
↓

災害及び通行障害が発生時には、通行客との情報連絡手段として現在多く普及している携帯電話による通信に頼らざるを得ない。

↓

早急な国道341号沿線における携帯電話の不感地帯解消が必要

秋田県仙北市字玉川




H20.6～　各関係6機関と共同で電気通信事業者へ要請実施。
（秋田森林管理署、仙北地域振興局建設部、玉川発電事務所、仙北市建設部、湯瀬ホテル玉川温泉営業所、羽後交通田沢湖営業所、玉川ダム管理所）

## 1．玉川地区341号周辺の過去の災害

・H18.2.24　雪崩発生→全面通行止め（4日間）

　玉川ダム管理所・・・現地対策本部

　玉川温泉　400人孤立。

・H19.9.17～18　土砂崩落、擁壁崩壊、法面崩落、ｽﾉｰｼｪｯﾄﾞ天井破壊、橋台基礎洗掘

・H20.5.2　原野火災　岩手、秋田防災ﾍﾘ出動

　玉川ダムHP（ﾍﾘﾎﾟｰﾄ）使用　森林6ha

## 2．現在の冬期通行確保

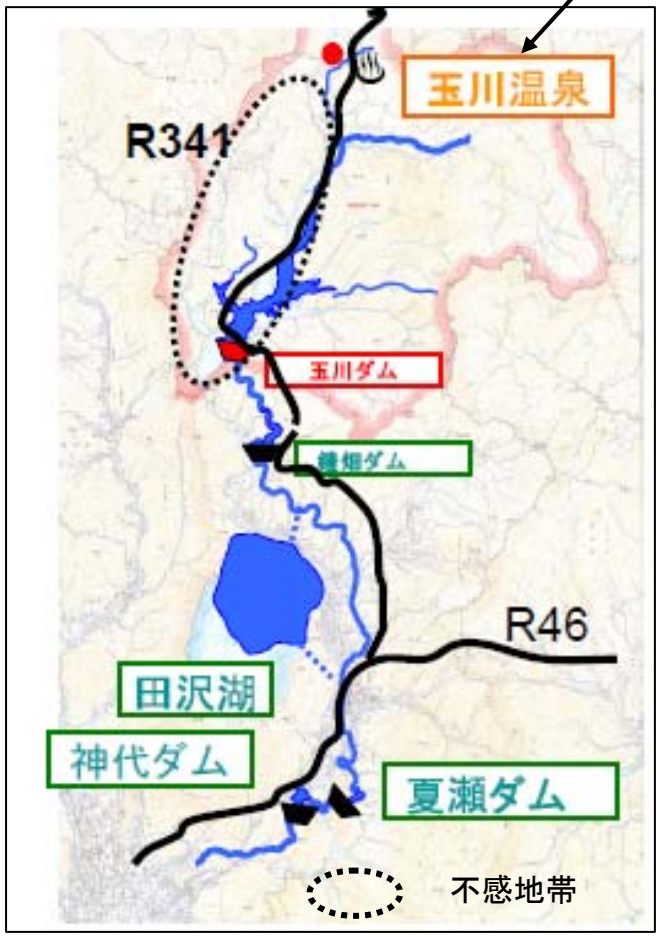
・玉川ダム付近～玉川温泉入り口　H11年冬期より交通規制走行（パーク＆ライド「護送船団方式」）

・冬期走行規制は、12月1日～翌年4月15日

・路線バスの運行時間内での通行許可

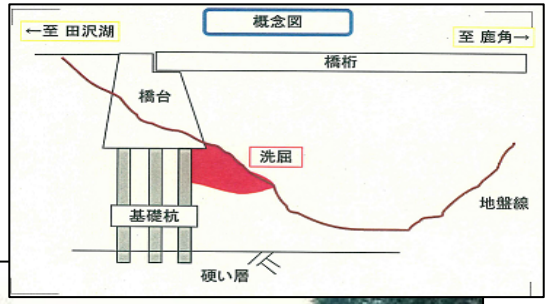
・2車線通行不可(一般通行車両不可）

玉川温泉・・年間20万人観光客



災害


崩落
←至 田沢湖
至 鹿角→
法面崩落
07.09.19


概念図
←至 田沢湖
至 鹿角→
橋桁
橋台
洗掘
基礎杭
地盤線
硬い層


⑤栂森上橋下流側橋台基礎部洗掘
洗堀

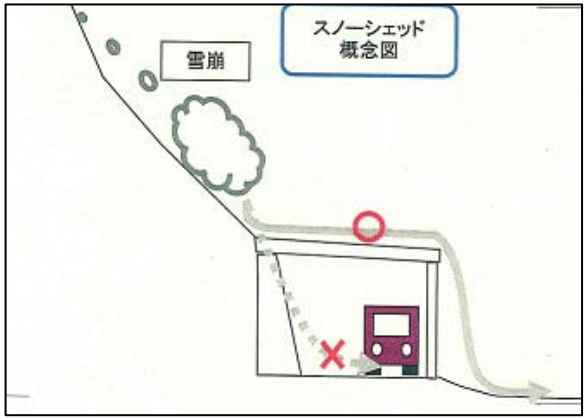

↓至 田沢湖
341
07.09.


写真C
大型どのう＋鋼矢板土留柵で
片側交互通行を確保
↓至 田沢湖


④
雪崩


写真B
コンクリート擁壁
粉砕
07.09.18


写真A
土砂崩落
至 鹿角→
←至 田沢湖
07.09.19


スノーシェッド
概念図
雪崩


写真B
破壊
屋根破損